

北朝鮮による弾道ミサイル発射によりＪアラートの緊急情報が発信された場合の対応について

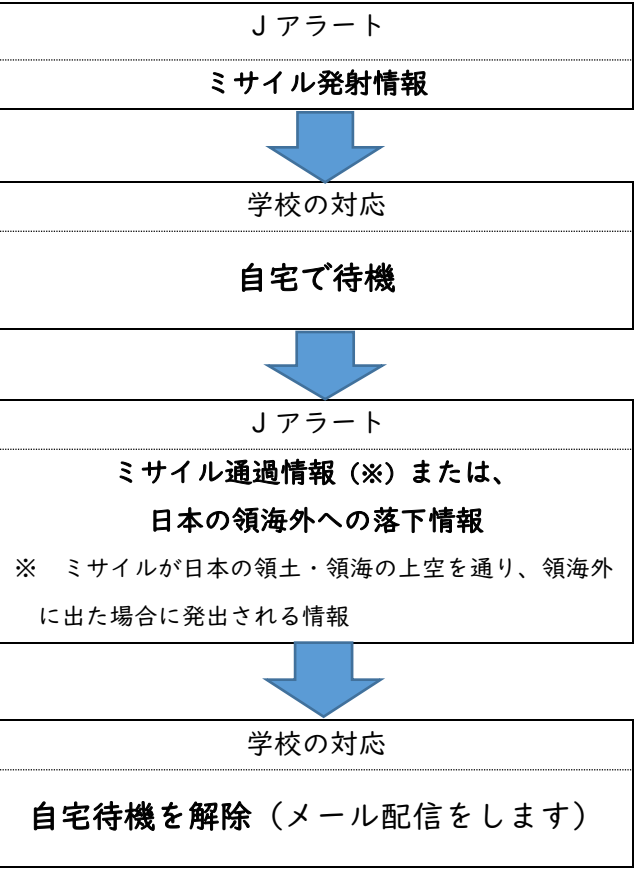
愛知県立ひいらぎ特別支援学校長

北朝鮮による弾道ミサイル発射によりＪアラートの緊急情報が発信された場合の本校の授業の取扱い等については、以下を基本とします。愛知県にＪアラートの情報が発信されるのは、「中部・近畿・中国地方」への落下または通過が予測される場合です。

Ⅰ 登校前

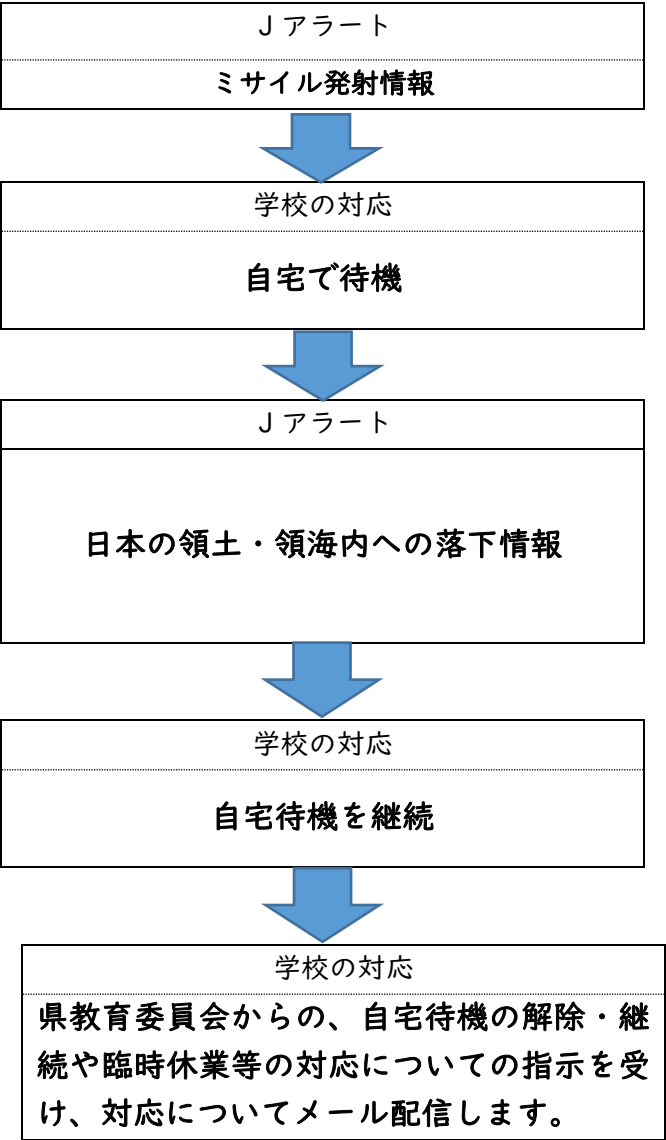
(１) Ｊアラートの情報が発信され、ミサイルが

日本の領土・領海外に落下した場合



(２) Ｊアラートの情報が発信され、ミサイルが

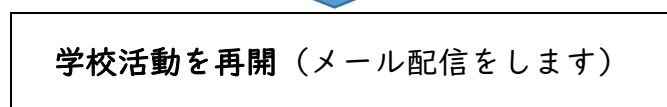
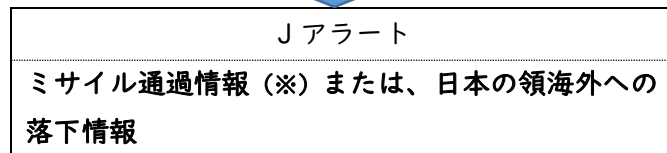
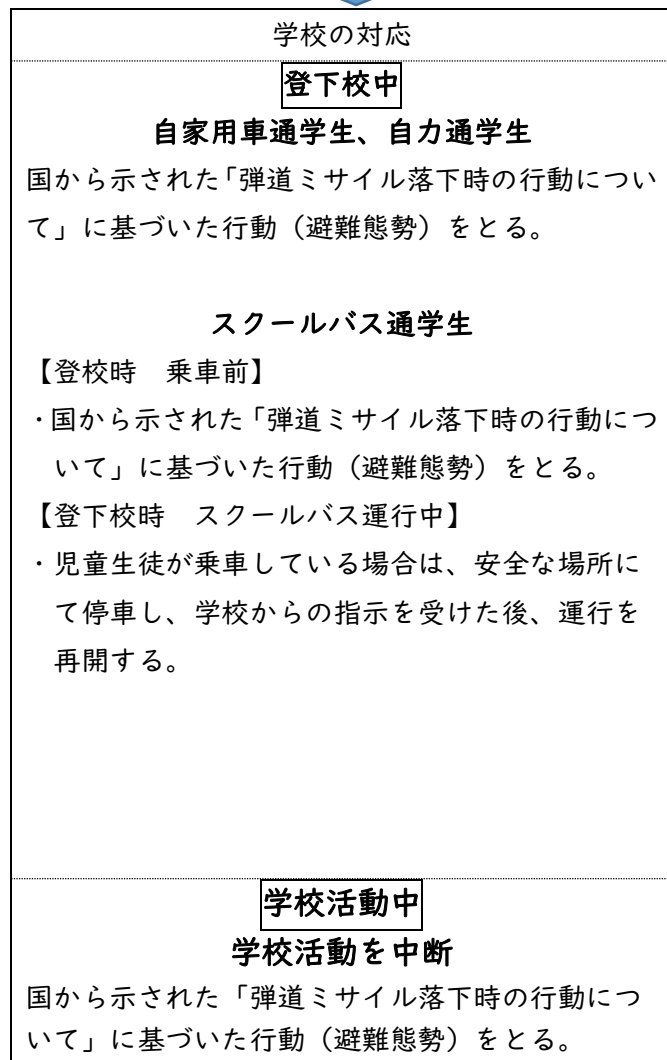
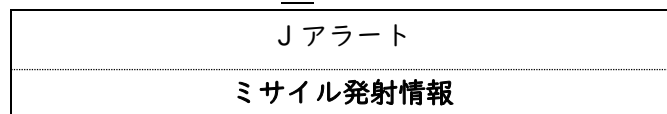
日本の領土・領海内に落下した場合



注：日本の領土・領海内にミサイルが落下したが、愛知県にＪアラートの情報が発信されなかった場合は、原則として平常どおり授業等を行います。ただし、県教育委員会が必要と判断した場合は、自宅待機、臨時休業等の措置をとることがあります。

2 登下校中、学校活動中（訪問教育も含む）

（１）Ｊアラートの情報が発信され、ミサイルが日本の領土・領海外に落下して危険がない場合



※ミサイルが日本の領土・領海の上空を通り、領海外に出た場合に発出される情報

（２）Ｊアラートの情報が発信され、ミサイルが日本の領土・領海内に落下して被害や今後の危険がある場合

